

熱い勝負の夏を制する！ 「車懸かりの出陣式」で決意を表明



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、7月1日（水）本部庁舎（新潟美咲合同庁舎）において出陣式を実施しました。これは、令和2年度の高校生募集解禁に合わせ、地本部員の団結力強化と隊員一人一人の士気高揚を図るため、毎年行っている恒例行事です。

出陣式は、集合写真撮影から始まり、全自衛官は「常在戦場」の意気込み高く、陸・海・空の迷彩服に身を包み集合しました。梅雨の一瞬の晴れ間の中、屋外において、越後の龍上杉兼信公が川中島の戦い等で用いた陣形である「車懸かりの陣」を新潟地本全部員で表現すると、一段と氣勢が上がり士気が高まりました。当時の状況について、全般を統制した広報室長は、「陸・海・空そして事務官の統合部隊で、出陣する勢いだった。正に、出陣式に相応しい気合いに満ちていた」と語っていました。



その後、本部庁舎会議室において、祈願だるまへの目入れと、各課・所・室長がそれぞれの課名を利用した「あいうえお作文」での決意表明を行いました。募集課長は「【ぼ】帆を上げて【しゅ】出航準備だ新潟地本【う】運気の風受け目標達成」といった決意表明を行い、各課・所・室長も同様に並々ならぬ気合いの入った決意を表明し、一筆ずつだるまに筆を入れていきました。



新潟地方協力本部長は、「年度当初に述べた『米百俵の精神』を忘れず頑張っていこう。百俵の米も教育に役立てれば、明日の一万俵、百万俵になる。募集業務の志願票獲得にかけて言えば、『米百俵 必ず取るぞ 百万票』となるだろう。各課室も募集に協力するとともに、それぞれの目標を達成できるよう頑張ってくれ」と述べた後、筆を入れたるまを仕上げました。



新潟地本は、出陣式を通じ団結力の強化を図り、決意新たに目標達成に邁進していきます。